

ガンディー著「真の独立への道」を読む

- ♦ 居ても立ってもいられなくなって書いたのです。さまざまな書物を大いに読みましたし、大いに考えました。さらに、私はイギリスでトランスヴァール使節団の一員として四か月滞在しましたが、その期間に会えるだけのインド人と一緒に考えましたし、会えるだけのイギリス人にも会いました。そして、私にとって最終的と思えた考えを公表するのが、自分の義務と考えました。P.7
- ♦ ここに示した考えは、私のものであり、私のものではありません。私のものというのは、私がそれにしがたって行動したいと思っているからです。私の魂の一部となっているようなものです。私のものではないというのは、私だけが考えたものではないからです。何冊もの本を読んで形成されたものです。私が自分の心の中で見ていたものがその本で支持されました。
- ♦ 目的は、ただ国に奉仕すること、真理を深究すること、真理に従って行動することです。ですから、私は、自分の考えが誤りと分かれば固執はしません。正しいとなれば、それに従って他の人たちも行動するよう、インドのために当然のことながら願います。P.8
- ♦ 新聞の役割の一つは、人々の気持ちを知り、それを発表することです。第二の役割は、人々に必要とされるある気持ちを生み出すことです。第三の役割は、人々に誤りがあれば、たとえどんなに困難であろうとも、容赦(ようしゃ)なく示すことです。P.11
- ♦ あなたはせっかちになっていますね。私はせっかちにはなれませんよ。あなた、ちょっと我慢をすれば、必要とするものは手に入りますよ。「あせってはマンゴーは熟さない」この諺(ことわざ)を覚えておきなさい。P.12
- ♦ 登った梯子(はしご)の段を蹴らないのが賢明です。もし、その段を蹴れば、梯子全体を倒してしまふ。これは覚えておかなければなりません。P.14 私たちが少年期から青年期に入るとき、少年期を軽蔑したりしないものです。それどころかその時期をいとおしんで思い出すものです。多年にわたって研究した人が私に教え、その基礎の上に私がもう少し知ようになったとしても、私が先生よりずっと賢者になったことにはなりません。先生に敬意を払わなければなりません。それと同じように、インドの祖父について理解するのが正しいのです。祖父の後にインド国民がいると私はいわなければなりません。P.15
- ♦ 他人の考えは誤りで、私たちの考えだけが正しい。また、私たちの考えに従わない者は国の敵である、このように見なすことは悪い癖です。P.17
- ♦ 権利 - 公正 - を要求する者はすべてに対して公正にしなければなりません。私たちが公正な態度を取れば、インドは早く自由になるでしょう。すべてのイギリス人を憎めば、自治は遠のくでしょう。しかし、もしイギリス人たちに公正な態度を取れば、自治の達成にイギリス人たちの助けを受けることになるでしょう。P.18

- ◆ 種子はいつも見えないものです。種子は自分の役目を地面の下で果たし、自身が形をなくすとき木として地面の上に見られるものです。P.20
- ◆ 日々が経過するにつれて国民は形成されるようになります。国民は一日で形成されるものではありません。何年も必要とします。P.21
- ◆ 請願の背後には力がなければならぬ、忍耐力がなければならぬ、P.22
- ◆ 大きな出来事の結果はこのように大きなものになるのです。P.22
- ◆ 人間は眠りから覚めても、寝ぼけていて、寝返りを打ち、落ち着いていないものです。すっかり目覚めるのには時間がかかるものです。P.24
- ◆ 人間が現状に満足している間は、そこから抜け出るように説得するのは困難です。ですからあらゆる改革の前に不満がなければなりません。現状が嫌いになるようになれば、それらを投げ出そうという気持ちになるものです。P.25
- ◆ イギリスの選挙人の聖書は新聞になってしまっています。選挙人はその新聞で自分の意見を決めます。新聞は不正直なものです。一つのことを二つにして出します。ある党派の新聞はそれを大きく取り上げますし、別の党派の新聞は小さく扱います。ある新聞が一人のイギリス人指導者を正直としますと、別の新聞は不正直とします。P.35
- ◆ インドの真の奉仕者は、正しく深究し、根本を調べなければなりません。たくさん食べて私が消化不良になったとすると、水のせいにしては消化不良を治せません。医者は病気の原因を探し出すものです。あなたがインドの病気の医者になろうとするのなら、病気の原因を探し出さなければなりません。P.44
- ◆ イギリス人たちがその国を支配するのは商売のためと知らなければなりません。イギリス人たちの軍隊と艦隊はただ商売を守るためだけにあるのです。P.46
イギリス人たちの最高神はお金である、このことに留意するとすべてがはっきりします。P.47

M.K.ガンディー 著 田中敏雄 訳

「真の独立への道」岩波文庫、岩波書店 2001年9月14日刊

- 2006年9月2日記 -